

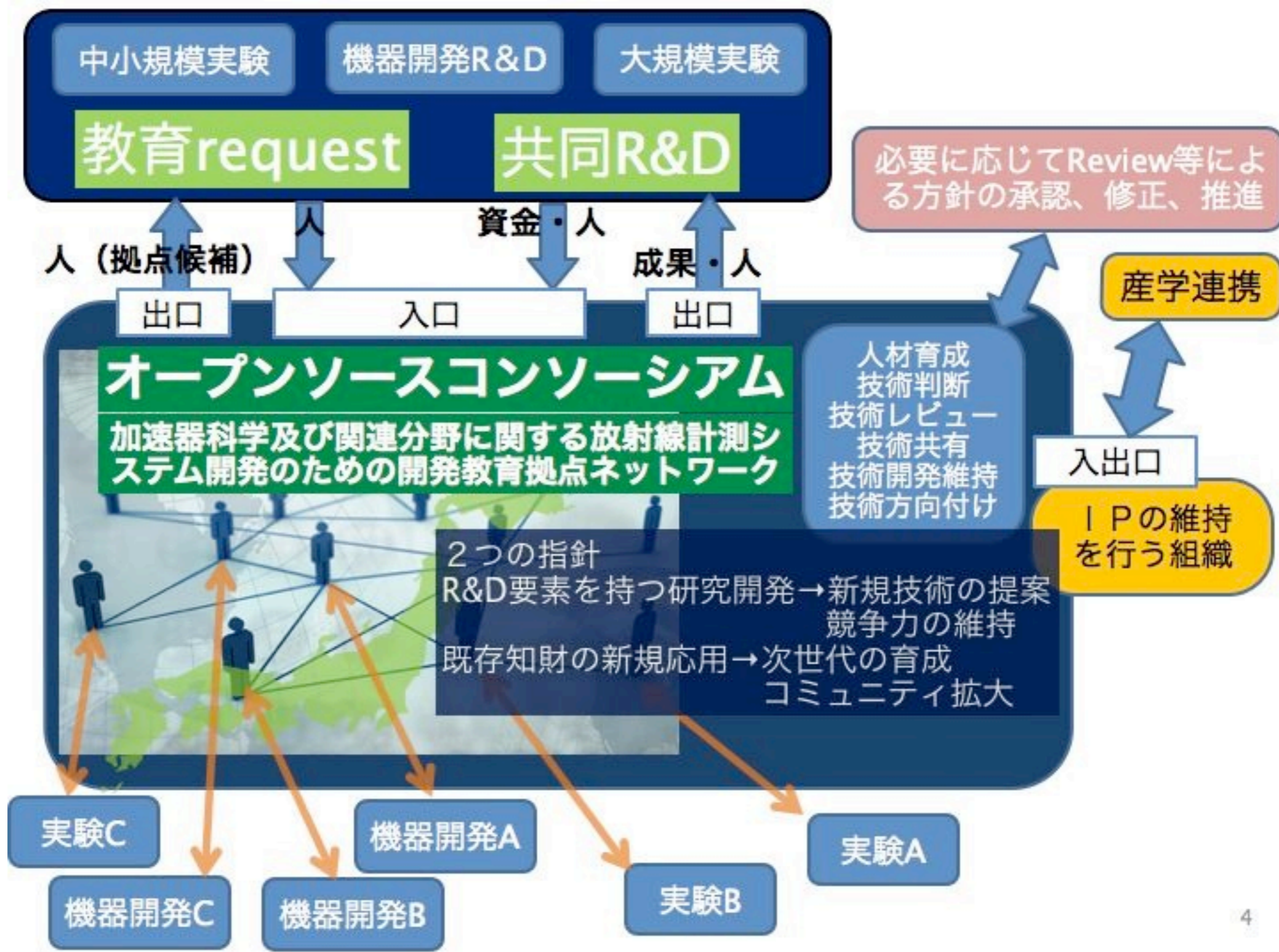
OSC初心者の感想

東大理 横山将志

2010.7.2 OSCワークショップ

OSCの、良さそうに見えるところ

- オープンである。
 - KEKも一つの拠点。
 - やりたいことがあった時、提案・議論するパスが明確にある。
- 実験に使う、実験に使える技術の開発。
 - 開発のための開発でなく、サイエンスのための（目標のある）開発



人、およびその間のネットワーク

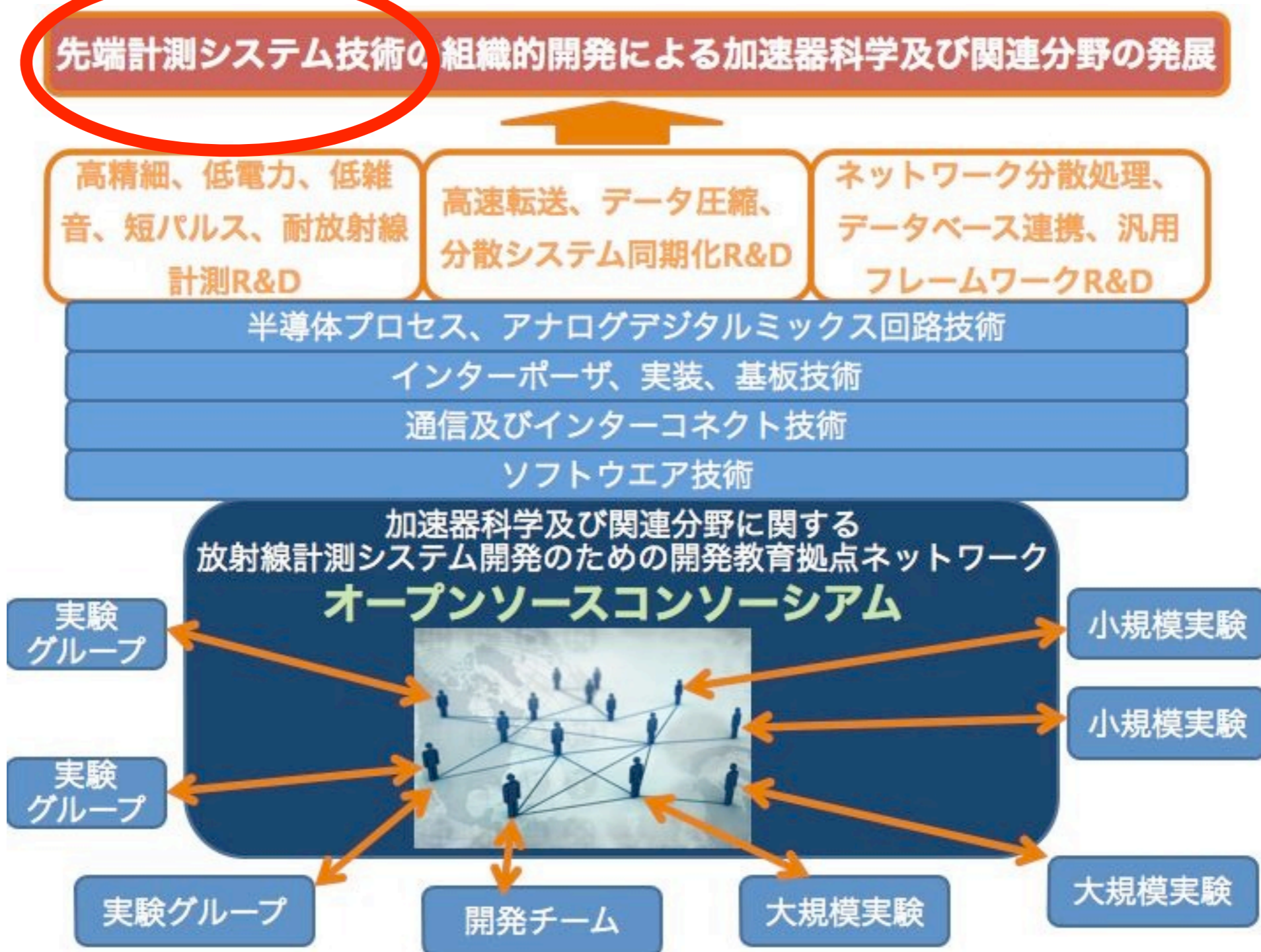
- 2次会の参加者が少なかった。残念。
- KEK⇔他の拠点のつながりだけでなく、横のネットワークの成長が不可欠
- コミュニケーションの維持
- 院生・若い人が集まる機会の提供
 - 院生(・PD)による成果発表会？
 - 失敗談もたっぷり？

OSC Webページより

方針は各拠点から提案があれば議論
され逐次修正、追加等を行うことに
しております。

議論して、本当に有用なものに
育てていくことが必要

「計測システム」の開発

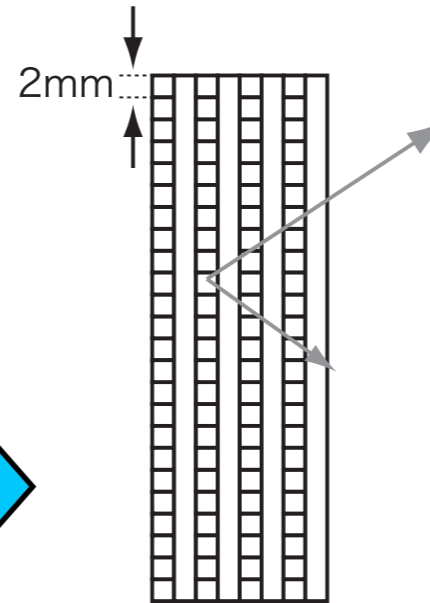
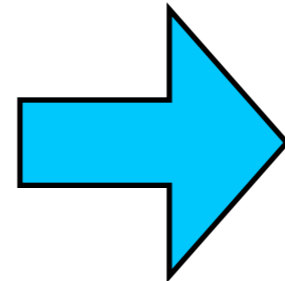
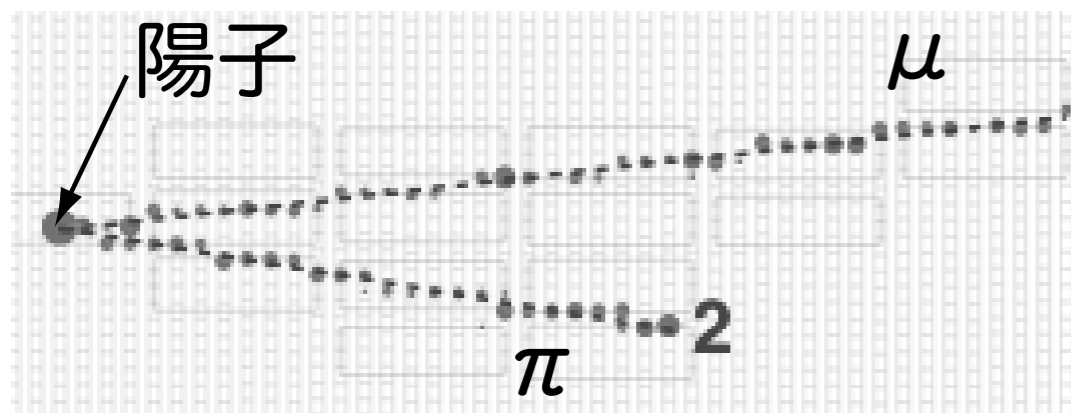


例えば

- 現行のASIC, FPGA, PCB実装, SOFT はもちろん重要だが、
- 実験へ使えるものを作る時には、測定器の存在を抜きには開発できない。
- 測定器を含んだシステム、さらには測定器そのものの開発はOSCのターゲットにならないのか。

T2K前置検出器アップグレード

今後3-4年くらい



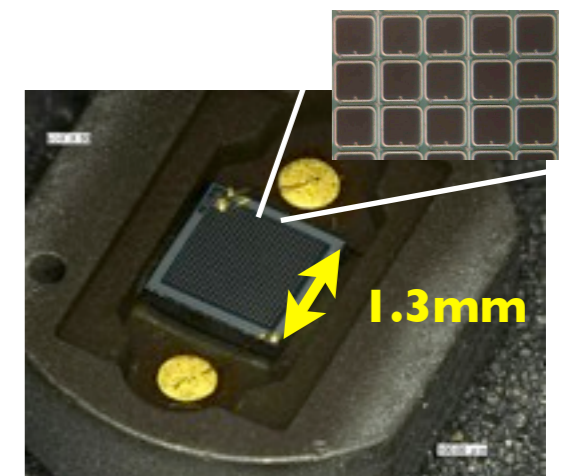
超微細検出器
分解能~1mm

現在のT2K前置検出器

分解能~1cm



- ~10万チャンネルのMPPC
- アレイ化、読み出しの開発
- MPPC自身の高性能化も

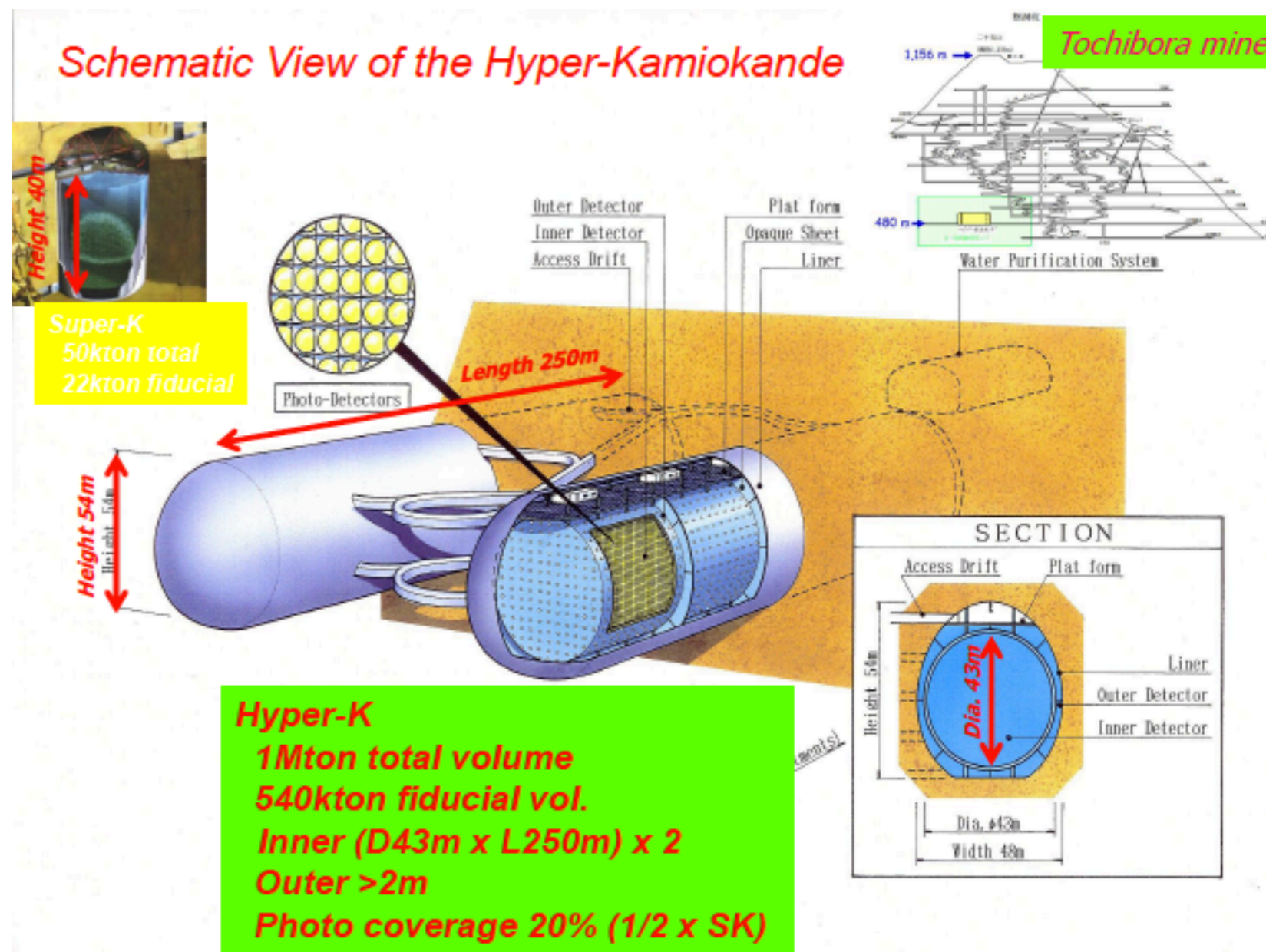


ハイパーカミオカンデ

東大理、宇宙線研、京都大などで

本格的な設計をスタート

読み出し・DAQ
などの開発



100万トン水チェレンコフ検出器

**ask not what your country can do for you
- ask what you can do for your country**

J.F.Kennedy